

在住外国人に対する 防災事業について

(財) 仙台国際交流協会

企画事業課事業推進係
菊池 哲佳

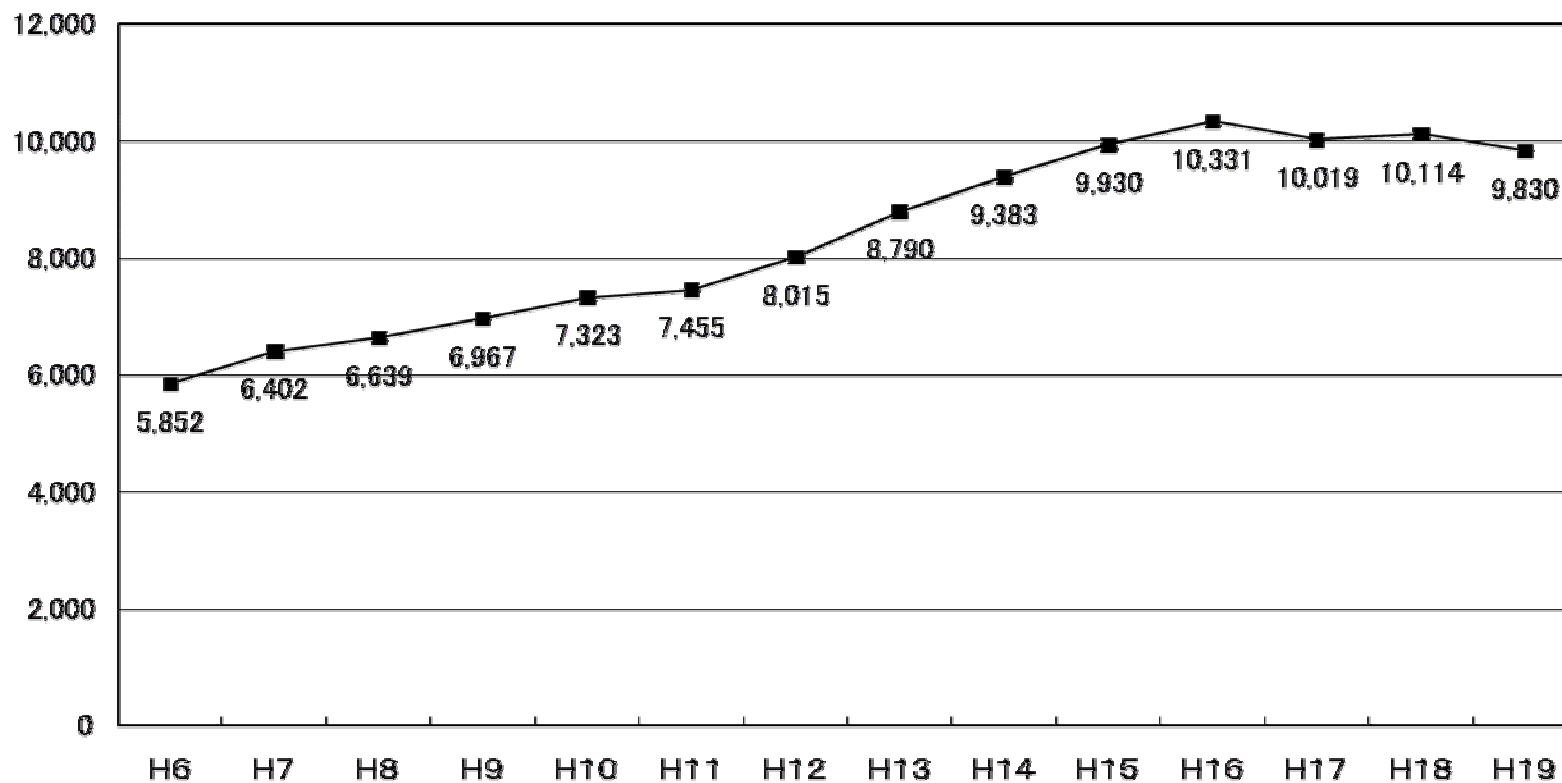
(財) 仙台国際交流協会について

(財)仙台国際交流協会は、地域の国際化推進を目的として1990年に設立。国際姉妹都市等との交流や在住外国人の日本語学習支援、市民の国際理解推進が主な事業でしたが、宮城県沖地震の危険性が叫ばれるなか、外国人に対する防災支援が緊急かつ重要な業務となってきました。



仙台市における外国人登録者数の推移

(各年4月末現在)



およそ市民の100人にひとりが外国籍市民

宮城県沖地震の発生確率

政府の地震調査研究推進本部により公表された発生確率
(平成19年1月10日現在)

評価時点(基準)	10年以内	20年以内	30年以内	経過率
平成19年1月1日	60%程度	90%程度	99%	0.77

(地震後経過率: 前回の地震発生以降経過した時間の平均活動間隔に対する割合)

30年以内にほぼ確実に発生

仙台国際交流協会の防災事業

災害語学ボランティアの育成(指定管理業務)

多言語防災情報の発信

ラジオ番組「Global Talk」

DVD「多言語防災マニュアル 地震」

印刷物「もしもしんがおこったら」 など

外国籍市民の防災訓練

防災関係団体とのネットワークづくり

仙台市災害語学ボランティア

[実施主体]

仙台市(平成12年度発足)

[運営]

(財)仙台国際交流協会

(仙台市より指定管理業務として受託)

[対象]

実用会話が可能なレベルの語学力があり、仙台市内在住か、通勤・通学している満18歳以上の方(国籍不問)。

[申し込み]

仙台国際センターにて随時受付。年度ごとに更新。

2007年11月28日現在の登録者数は81名。

仙台市災害語学ボランティア

登録状況

a. 言語別(2007年11月28日現在)

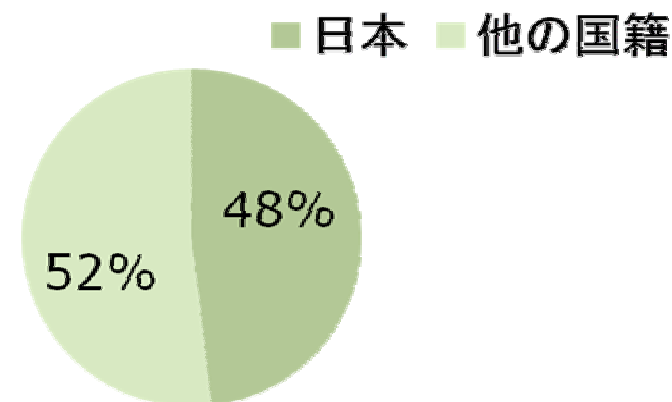
英語45名、中国語30名、韓国語10名、フランス語6名、
スペイン語4名、モンゴル語4名、ロシア語4名、
ベトナム語2名、マレー語2名、ルーマニア語2名、
アラビア語1名、アルメニア語1名、インドネシア語1名、タイ語1名、
台湾語1名、ペルシア語1名、ポルトガル語1名

(複数言語登録者あり)

仙台市災害語学ボランティア

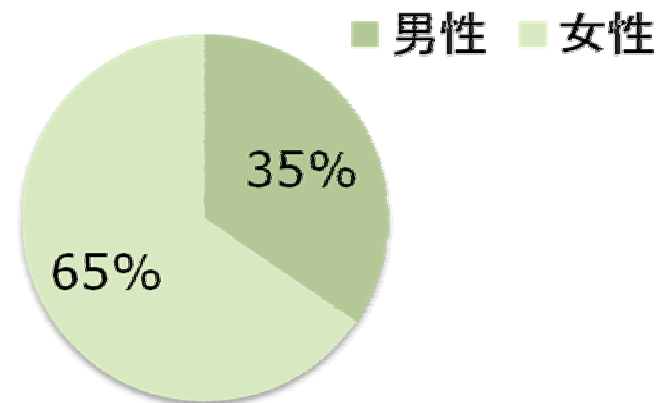
b. 出身国別(2007年11月28日現在)

日本39名、他の国籍42名



c. 性別(2007年11月28日現在)

女性53名、男性28名

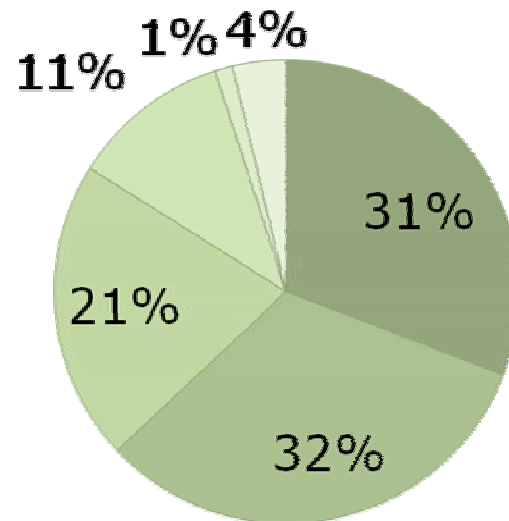


仙台市災害語学ボランティア

d. 年齢別 (2007年11月28日現在)

年齢別構成

■ 20代 ■ 30代 ■ 40代 ■ 50代 ■ 60代 ■ 70代



仙台市災害語学ボランティア

災害語学ボランティアの研修

- ・ 市総合防災訓練への参加
- ・ 公開研修会
- ・ 他都市の事例勉強会
- ・ 視察研修
- ・ 「せんだい地球フェスタ」への参加
- ・ 集住地域での町内会主催防災訓練への参加
- ・ ワークショップ